

八雲

第61号

(令和6年10月発行)

大東高校校歌

1. 勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんな
袂の花のほこらびに
我が青春は謳ふべし
2. 夕影たかく秋深き
織部の山に風かよふ
かの夕つつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手をとりにていざ共に哭け
3. 理想の洋は遥かなり
真理の道の遠ければ
あゝ、カルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす
4. 東天高く曙の
光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん



一歩、一歩に「思い」と「力」を込めて

— ネガティブからポジティブへ —

八雲会会長 土江博昭

去る7月6日(土)、八雲会の総会におきまして、引き続き会長として責務を果たすように、と会員の皆様からご支持をいただきました。

微力ながら今期2年間を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

さて、今年も大東高等学校卒業生会誌「八雲」の原稿を書く時がやってきました。これまでの私の原稿を改めて読んでみますと、生徒数の減による大東高等学校の危急存亡……などの課題を取り上げ、心配や不安の中で、ネガティブな思いを綴っていたように思います。「心配ばかりしては、何も解決しない。」、会長再任を機に、心機一転、何事も前向きに考え、この2年間にできることを確実に実行していきたいと思っています。

こうした中、令和6年度の八雲会の活動方針の重要な柱として、学校部活動の充実を掲げています。八雲会、部活動後援会は、部活動の充実のために、これまで、寮の完備の要望をはじめ、指導者の公募、中高の連携の重要性、特色ある部活動の開設などを訴えてきました。

その中で、兼ねてより要望していた「共同下宿(定員10名)」が雲南市により開設が実現し、令和7年4月から供用開始となります。また、特色ある部活動の開設については、八雲会、部活動後援会が令和7年4月に「レスリング部の創設」に向け、支援活動を行っています。具体的には、指導者の確保と選手の勧誘が主な活動です。

特に県外の中学3年生のレスリング経験者を勧誘するための活動費の支援で、一般会計20万円、特別会計から50万円を総会で承認していただき、地元レスリング関係者により精力的に勧誘活動が行われております。東京、神奈川、福井、広島、山口、等で勧誘活動が行われ、現在、一定の成果が得られています。

生徒数が減少する中で、なぜ「レスリング部の創設」なのか、という声もあると思いますが、背景としては、①2025年度全国高等学校総合体育大会及び2030年度国民スポーツ大会のレスリング競技会の会場が雲南市に決定していること。②選手の養成、強化を図る拠点を大東高等学校とし、伝統ある部活動と、新たな歴史を創るレスリング部が相乗効果を発揮しながら、魅力ある大東高等学校を核とした、まちづくりの実践。③現在、世界の舞台上で活躍している選手を輩出するなど、実績のある「加茂B&Gレスリングクラブ」の子どもたちの進学先として大東高等学校が新たな役割を果たす。

以上のような背景が考えられますが、部活動の振興は、スポーツの持つ力を無限の可能性へとつなげるものだと思っています。そして、スポーツを通じた、「人・まち・地域づくり」が期待できると思っています。

今回のパリ大会で見られた日本人選手の活躍、立ち振る舞いやチームワークの良さは、正にスポーツ自体が有する教育的意義そのものだと実感しながら、大東高等学校の部活動の充実を夢見しています。

「山行同志に示す」

「路は羊腸に入って 石苔滑らかなり
風は鞋底より 雲を掃うて 廻る
山に登は 恰も 書生の 業に似たり
一歩 歩 高うして 光景 聞く」

草場佩川作



魅力ある大東高校を目指して

校長 陶山 裕史

八雲会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解、ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

令和6年度は、新入生52名を迎え、全校生徒195名でスタートしました。少子化が進み、地域の環境が大きく変化する中、今年度から1学年の定員が120名から90名に削減されましたが、入学者がさらに減少し、定員割れの状態が続いています。卒業生の皆様や地域の方々にご心配をおかけしておりますこと、大変申し訳なく思っておりますが、引き続き地域の方々のご協力をいただきながら、教育の充実とさらなる魅力化を進めてまいります。

本校では昨年度、鳥根県立大学と連携協定を締結し、教育活動の充実を図っています。今年度は特に、総合的な探究の時間を中心に、大学の先生や学生の皆さんに本校の教育活動に参画していただいたり、本校生徒が学生の皆さんと協働してボランティア活動に参加したりするなど、教育活動の質を高めてきました。生徒が大学での学びに触れながら卒業後の進路を考える機会も増え、キャリア教育も充実しています。

また、本校の教員も積極的に授業改善に取り組んでおり、全校生徒が端末を所有し、授業でもICT活用が進んでいます。教員研修を重ねながら、授業力の向上や業務の効率化を進め、今年4月には鳥根県内の高校で初めて日本教育工学協会から「学校情報化優良校」に認定されました。さらに、文部科学省の「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」に採択され、パソコン教室に最新の機器を導入したり、新しく「データサイエンス」を学ぶ授業を開設したりするなど、デジタル人材の育成にも力を入れています。

部活動でも、伝統を引き継ぎながら成果を上げています。2030年に鳥根県で開催される国民スポーツ大会の男子ビーチバレーボールの強化指定校に指定され、昨年24年ぶりにインターハイ出場を果たした男子バレーボール部が、ビーチバレーボールにも取り組んでいます。全国大会での活躍も続け、一昨年は全国高校男子選手権で優勝し、昨年は鹿児島での特別国体で7位入賞を果たすなど、目覚ましい成果を挙げています。本年度中には本校の敷地内にビーチバレーボールコート建設も予定されています。

雲南市は2025年度の全国高校総体と2030年度の国民スポーツ大会でレスリング会場になります。本校は地域で育成された選手の活躍の機会を創出し、レスリングが地域に根ざしたスポーツとなるよう、八雲会のご支援を受けながら来年度のレスリング部創設を目指して準備を進めています。

大東高校は、生徒一人一人が様々な場面で主役になり、活躍できる学校を目指して教育活動を行ってきました。地域の方々のご支援をいただきながら、3年間を通して生徒も着実に力をつけ、国公立大学への進学や地元企業への就職など、多様な進路希望を実現させています。これからも自らと社会の未来を切り拓き、地域社会に貢献する人材の育成を目指して、さらなる教育活動の充実と教育の魅力化を図ってまいります。今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

Activity report in HIROSHIMA

令和
6年

八雲会広島支部
総会の報告

広島支部 支部長 佐藤 眞



八雲会広島支部は令和6年度総会を7月20日(土)、八雲会本部から陶山副会長(校長先生)、松村事務局長(教頭先生)をお迎えし広島市中区のロイヤルパークホテルにて開催しました。当日は、猛暑が続く中での開催にもかかわらず、昨年度よりも2名増えて15名の方々に参加頂きました。

渡部幹事の司会で総会は始まり、佐藤支部長から開会にあたり「近年、地震、異常気象による猛暑・台風そしてコロナ感染の再拡大など、私たちを取り巻く自然環境が非常に厳しいことになっています。こうした中で本日皆さん元気で参加頂き嬉しく思います。また感謝申し上げます。今日は久しぶりに飲み交わしましょう。そして語り合いましょう。そしてまた来年、元気に再会できますように」と挨拶がありました。

来賓紹介の後、陶山校長先生から、出身は三刀屋高校で、昨年4月初めて雲南地区に赴任されたことなど、ご自身の紹介を交え総会開催の祝辞を頂きました。

続いて議事に入り令和5年度の決算報告が満場一致で承認されました。併せて毎年猛暑が予想される中で総会の開催時期について、幹事会で検討していきたいとの提案がありました。

議事が終わり、高5期の狩野彰彦さんの乾杯の音頭で懇談会に入りました。乾杯に先立って、狩野さんが「大東高校の校歌は哲学的である」と称賛され、校歌の二番で歌われる「かの夕づつの訪ひを・・・」の「夕づつ」は枕草子の「星は、昴、彦星、夕づつ、よばひ星すこしおかし」にあって、宵の明星すなわち金星のことであり、高校2年の時に「枕草子」を学習されたことを懐かしく話されました。なお、校歌の制定日は狩野さんの入学と同じ年の昭和25年(1950年)4月10日です。

一年振りの出会で賑かに会話が進むなか、高17期の三島幹事の進行で参加者からの近況報告を頂き、特に陶山校長先生からは、スライドを用い、大東高校の抱えている最重要課題は生徒数の減少で、このままでは教育の充実化、部活動活性化が大きく脅かされる。そのため学校では他校とは違う魅力化づくりとして、「Well-Being～生徒・教職員が希望を持って集う学校

へ」をスローガンに「チャレンジの連鎖」など様々な戦略を熟っぽく語られ、特色ある取り組みとして以下について説明がありました。

- ・総合入学者選抜
- ・スポーツ特別選抜(男子ビーチバレーボール)
- ・八雲会・部活動後援会と連携したレスリング部創設
- ・県外・市外からの入学生を受け入れするための共同下宿(雲南市整備)が趣旨でした。

また、部活動報告で、今年度は、インターハイ出場は叶わなかったが、それぞれ大健闘したとの報告がありました。

懇談会も終わりに近づいたころ、恒例の校歌・壮行歌・応援歌の斉唱の前に、歌詞の意味を理解している方がより盛り上がるだろうとの思いで、渡部幹事から歌詞の難解な字句の説明がありました。校歌では前述の二番の「夕づつ」すなわち宵の明星の出現周期は1年7ヶ月余りであって、次の訪れは来年初めの頃で、1月15日が最も明るく輝くこと。三番の「カルデア」とはメソポタミアの南東部の沼沢地帯の歴史的呼称であり、紀元前10世紀ごろからこの地に移り住んだ遊牧民はカルデア人と呼ばれ、星の運行を観察して天文学や占星術を発達させた。今では大東高校の生徒全員が持っている手帳の名称が「カルデアの牧人」であること。四番の「大瀛」は「たいえい」と読む、「瀛」が海の意なので大きな海を表すこと、などでした。

その後、校歌と壮行歌を斉唱しそれぞれ若かりし頃を思い出し語り合い賑やかで和やかな総会でありました。

高17期の黒川陽右さんが「来年はこの会の参加者をぜひ倍にしましょう。そして必ずお会いしましょう。」と再会を約束し総会は終了しました。

広島支部も会員の高齢化という問題に直面しています。今年も参加者が高23期～高50期の間が空白となっています。この空白を少しでも埋め会員数を増やし活性化させることが急務です。このため皆様の親戚、先輩、後輩、同窓会等から会員を発掘し紹介下さい。会員数拡大のため皆様の一層の協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

八雲会

令和5年度事業報告

令和6年度事業計画

令和5年度 事業報告

平成5年

4月17日(月)	第1回校内幹事会(役割分担等)
5月2日(火)	監査会(R4年度決算)
5月29日(月)	第2回校内幹事会(役員会)
6月7日(水)	役員会
7月1日(土)	八雲会総会
7月9日(日)	阿用支部会
7月22日(火)	広島支部会
10月	会報「八雲」第60号発刊
11月18日(土)	佐世支部会
11月18日(土)	久野支部会
11月26日(日)	春殖支部会
12月5日(火)	海潮支部会
12月12日(火)	大東支部会

令和6年

1月25日(木)	第3回校内幹事会(入会式)
2月7日(水)	加茂支部会
2月21日(水)	八雲会役員選考会
2月29日(木)	第76期八雲会入会式
3月7日(木)	幡屋支部会

令和6年度 事業計画(案)

令和6年

4月5日(金)	第1回校内幹事会(役割分担等)
4月15日(月)	監査会(R5年度決算)
5月16日(火)	役員会
5月23日(木)	第2回校内幹事会(総会)
7月6日(土)	八雲会総会
7月20日(土)	広島支部会
10月	会報「八雲」第61号発刊
月 日()	関東支部会
月 日()	関西支部会
月 日()	大東支部会
月 日()	春殖支部会
月 日()	幡屋支部会
8月20日(火)	佐世支部会
8月8日(木)	阿用支部会
月 日()	海潮支部会
月 日()	久野支部会
月 日()	塩田支部会
月 日()	加茂支部会
月 日()	穴道支部会
月 日()	木次支部会

令和7年

2月 日()	第3回校内幹事会(入会式)
2月28日(金)	第77期八雲会入会式

令和5年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	687,000	674,100	▲ 12,900	年額3,000円
繰越金	1,772,811	1,772,811	0	前年度繰越金
寄付金	500,000	546,447	46,447	寄付金
雑収入	189	14	▲ 175	預金利息
合計	2,960,000	2,993,372	33,372	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	730,000	171,170	▲ 558,830	
会議費	300,000	26,338	▲ 273,662	役員会、総会費
旅費	300,000	54,750	▲ 245,250	支部会出席旅費
通信費	30,000	26,795	▲ 3,205	郵券等
事務費	50,000	36,887	▲ 13,113	振替払込書印字代等
管理費	50,000	26,400	▲ 23,600	会員登録、データ管理等
事業費	1,420,000	1,126,002	▲ 293,998	
八雲発行費	650,000	572,086	▲ 77,914	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	220,000	▲ 200,000	広島、加茂、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮の各支部
入会式	50,000	36,336	▲ 13,664	入会記念品等
魅力化充実費	300,000	297,580	▲ 2,420	高大連携事業費等
雑費	30,000	5,000	▲ 25,000	慶弔費
予備費	780,000	22,330	▲ 757,670	全国大会出場新聞広告費
合計	2,960,000	1,324,502	▲ 1,635,498	

特別会計(積立)決算書

令和4年度末残額	5,445,570円
令和5年度利息	46円
令和5年度末残額	5,445,616円

(収入総額) 2,993,372円

(支出総額) 1,324,502円

(差引残額) 1,668,870円・・・令和6年度へ繰越

令和6年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	585,000	687,000	▲ 102,000	年額3,000円×195名
繰越金	1,668,870	1,772,811	▲ 103,941	前年度繰越金
寄付金	500,000	500,000	0	寄付金
繰入金	500,000	0	500,000	特別会計からの繰り入れ
雑収入	130	189	▲ 59	預金利息等
合計	3,254,000	2,960,000	294,000	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	630,000	730,000	▲ 100,000	
会議費	200,000	300,000	▲ 100,000	役員会、総会費
旅費	300,000	300,000	0	支部会出席等旅費
通信費	40,000	30,000	10,000	郵券等
事務費	50,000	50,000	0	事務用品、振替払込書印字代等
管理費	40,000	50,000	▲ 10,000	会員登録、データ管理等
事業費	1,870,000	1,420,000	450,000	
八雲発行費	700,000	650,000	50,000	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	420,000	0	関東、関西、広島、松江、加茂、木次、宍道、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入会式	50,000	50,000	0	入会記念品(卒業証書入用筒)
魅力化充実費	700,000	300,000	400,000	部活動後援に係る旅費等
雑費	30,000	30,000	0	
予備費	724,000	780,000	▲ 56,000	
合計	3,254,000	2,960,000	294,000	

特別会計(積立)予算書

令和5年度末残額	5,445,616円
令和6年度一般会計へ繰り出し	500,000円
令和6年度利息	84円
令和6年度末残額	4,945,700円

「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本各地にいらっしゃいます卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面をお借りしまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

1. 寄付状況

◇総額：550,000円 ◇振込人数 110人

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道 2 / 福島 1 / 埼玉 3 / 東京 8 / 千葉 2 / 神奈川 5 / 長野 1 / 愛知 1 / 滋賀 1 / 大阪 14
京都 4 / 奈良 1 / 兵庫 2 / 岡山 2 / 広島 15 / 鳥取 3 / 島根 44 / 福岡 1

◇口別寄付状況（人） 1口1,000円

1口/20 2口/14 3口/34 5口/20 10口/18 30口以上/4

2. 寄付者芳名録

（期順、敬称略）令和5年9月1日～令和6年8月31日

振込回数により、氏名の重複があります。

期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県
実女6	高橋 松子	東京	高11	杉原 ヤシ子	島根	高19	蘆田 信夫	島根
高女6	足立 弥生	島根	高11	藤原 英好	島根	高20	横山 美昭	島根
高3	勝部 美保子	島根	高12	野津 克彦	島根	高20	西村 武	島根
高3	経種 信明	北海道	高定12	佐藤 和紀	広島	高21	糸原 正達	広島
高3	藤間 熙子	神奈川	高13	山形 満雄	島根	高21	奥津 正江	岡山
高3・高30	田中 潤子・幸	島根	高13	山崎 貞夫	神奈川	高21	佐々木 万里子	島根
高定3	狩野 精夫	神奈川	高13	門脇 康之	島根	高22	中村 淳	大阪
高5	狩野 彰彦	広島	高13	坂野 遂子	東京	高22	斉藤 鈴子	愛知
高5	狩野 彰彦	広島	高定13	三島 修	京都	高22	岩崎 美枝子	大阪
高5	藤原 義正	兵庫	高14	錦織 涿郎	島根	高22	斉藤 由美子	埼玉
高5	藤本 浩子	大阪	高14	富久 修	広島	高22	吉岡 祥治	島根
高6	芦田 裕昭	京都	高14	永瀬 春雄	大阪	高22	高橋 敬二	島根
高6	永田 泰弘	東京	高14	小山 義弘	島根	高22	原 幸生	大阪
高7	森 修司	大阪	高15	山中 茂樹	埼玉	高23	簾 洋一	広島
高7	犬塚 浩子	千葉	高15	辻本 俊洋	大阪	高23	小山 勉	大阪
高7	野々村 学	東京	高15	高島 節郎	東京	高23	門脇 文雄	北海道
高8	加納 武夫	福島	高16	長谷川 亨	島根	高23	石川 辰子	島根
高8	稲田 幸夫	広島	高16	松浦 孝保	鳥取	高24	長妻 幸宏	島根
高8	西村 俊子	島根	高16	渡部 剛	広島	高24	池田 智恵子	鳥取
高8	上村 恭子	大阪	高16	上代 雅躬	島根	高24	狩野 恵子	島根
高8	藤原 和夫	島根	高17	錦織 一夫	島根	高25	鶴原 憲治	島根
高8	濱村 耕三	神奈川	高17	奥原 稔	島根	高25	長澤 幸子	島根
高8	瀧 清	島根	高17	小山 智佳子	島根	高26	原 泰夫	千葉
高8	土井 進	大阪	高17	斉藤 和子	東京	高27	坪倉 憲一	広島
高9	内田 邦昭	広島	高17	佐々木 ハツヨ	神奈川	高27	林 淳子	長野
高9	遠藤 直子	島根	高17	原 幸男	島根	高28	錦織 聖	京都
高家9	石原 道子	東京	高17	森山 綾子	島根	高30	狩野 雄作	兵庫
高10	菅沢 文子	島根	高17	永田 美恵子	島根	高32	西村 隆正	島根
高10	田中 力	大阪	高17	佐藤 眞	広島	高32	福本 修司	東京
高10	森 龍治	広島	高17	加田 憲三	島根	高33	金森 正	大阪
高10	菅沢 文子	島根	高17	岡田 幹雄	島根	高33	徳安 ひふみ	滋賀
高10	高橋 潮	奈良	高18	藤田 マスミ	大阪	高35	勝部 清	島根
高10	森脇 和子	島根	高18	福本 亨	埼玉	高36	中島 俊光	京都
高10	上代 隆	鳥取	高18	土江 博昭	島根	高36	蔵田 順子	福岡
高10	岡田 邦雄	広島	高18	青木 愛治	島根	高39	門脇 康文	島根
高11	河島 信四	広島	高19	鶴原 武夫	岡山		八雲会 佐世支部	島根
高11	錦織 武久	大阪	高19	今岡 光範	広島			

本人死去によりご家族様からの寄付（2名）

振込方法

専用払込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。一口1,000円から受けさせていただきます。

◆寄付金額：一口 1,000円

◆振込先：ゆうちょ銀行 ※手数料はかかりません。

口座記号番号 01390-5-103127 口座名称 八雲会

◆その他 ・卒業生のお名前でお振り込みください。（ご家族の方等が振り込まれる場合も）

・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。

・振込期限はありません。（随時受付をしています）

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。

振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九(イサキク)店(139)

預金種目：当座

口座番号：0103127

令和6年度～令和7年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	安原 重隆	高11	副会長	南波由美子	高46
会長	土江 博昭	高18		陶山 裕史	校長
副会長	矢壁 正弘	高28	監事	狩野 健吉	高18
	高橋 雄二	高32		石川 辰子	高23
				狩野 恵子	高24

【理事】

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	青木 愛治	高18	海潮	福間 廣明	高20
	小山 幸子	高36		佐々木 徹	高23
	安部 幸治	高24		宮川 稔	高27
	曾田美佐子	高28	塩田	新田 国善	高27
春殖	横山 美昭	高20	加茂	高橋 雄二	高32
	小川 茂之	高29		加藤 健一	高45
幡屋	森山 武史	高25		青木 光男	高31
	赤名 秋夫	高26	畑 宏明		高29
佐世	錦織 一夫	高17	梶谷 佳平	高26	
	高橋 敬二	高22		木次	佐藤 隆司
阿用	勝部 洋一	高21	細木 弘志	高32	
	陶山 隆之	高17	宍道	高木 博	高32
	矢壁 正弘	高28	松江	休会	
	安部万里子	高28	広島	佐藤 眞	高17
久野	上代 英治	高29	佐藤 和紀	高12	
	長妻 賢二	高32		関西	未定
	三澤 郁穂	高35	関東	鏑木 茂雄	高32
			持田 啓司	高32	

【大東高等学校事務局】

事務局長	松村 茂樹(教頭)	幹事	上野城将志(高51)
幹事長	松村 茂樹(高43)	幹事	小山美紀子
幹事	有田 修(事務長)	幹事	鳥谷 祐子
幹事	藤原 智美(高48)	幹事	長谷川直人

よろしく申し上げます。



大東高校公式

facebook

Instagram

もご覧ください。

【代議員】

令和6年9月24日 現在

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	小山 益男	高20	松江	岩橋 弘政	高18
	福間久仁子	高22	広島	渡部 剛	高16
	早川 光幸	高24		三島 暁子	高17
春殖	糸原 優二	高33	関西	小山 勉	高23
	田中 久志	高33	関東	佐藤 博芳	高32
幡屋	郷原 辰雄	高22	【八雲会支部長】 大東支部 青木 愛治 春殖支部 横山 美昭 幡屋支部 森山 武史 佐世支部 錦織 一夫 阿用支部 勝部 洋一 久野支部 上代 英治 海潮支部 福間 廣明 塩田支部 新田 国善 加茂支部 高橋 雄二 木次支部 佐藤 隆司 宍道支部 高木 博 松江支部 広島支部 佐藤 眞 関西支部 未定 関東支部 鏑木 茂雄		
	舟木 忠夫	高24			
	武田 良伸	高32			
佐世	田中 互	高37			
	安部 博	高18			
阿用	鶴原 憲治	高25			
	木色 薫	高20			
	森山 肇	高24			
久野	安井 修	高25			
	福間 美博	高34			
海潮	山根 和幸	高25			
	岩田 和義	高19			
	佐藤 正範	高32			
塩田	藤原 英二	高37			
	安達 隆亜	高42			
加茂	今岡 貴志	高32			
木次	上野城保明	高49			
宍道	佐藤 和彦	高32			



編集後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。



大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校

〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637

TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512

E-mail:daito-hs@edu.pref.shimane.jp

ホームページ <https://www.daito-h.ed.jp/>